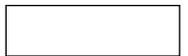


間違った描き方事例のご紹介 (2級)

各級とも、全国的に多くの受験者の方が共通して間違える箇所や誤った描き方が見られます。
ここでは2級の作図の際、とくに注意しなければいけない箇所についてご紹介します。



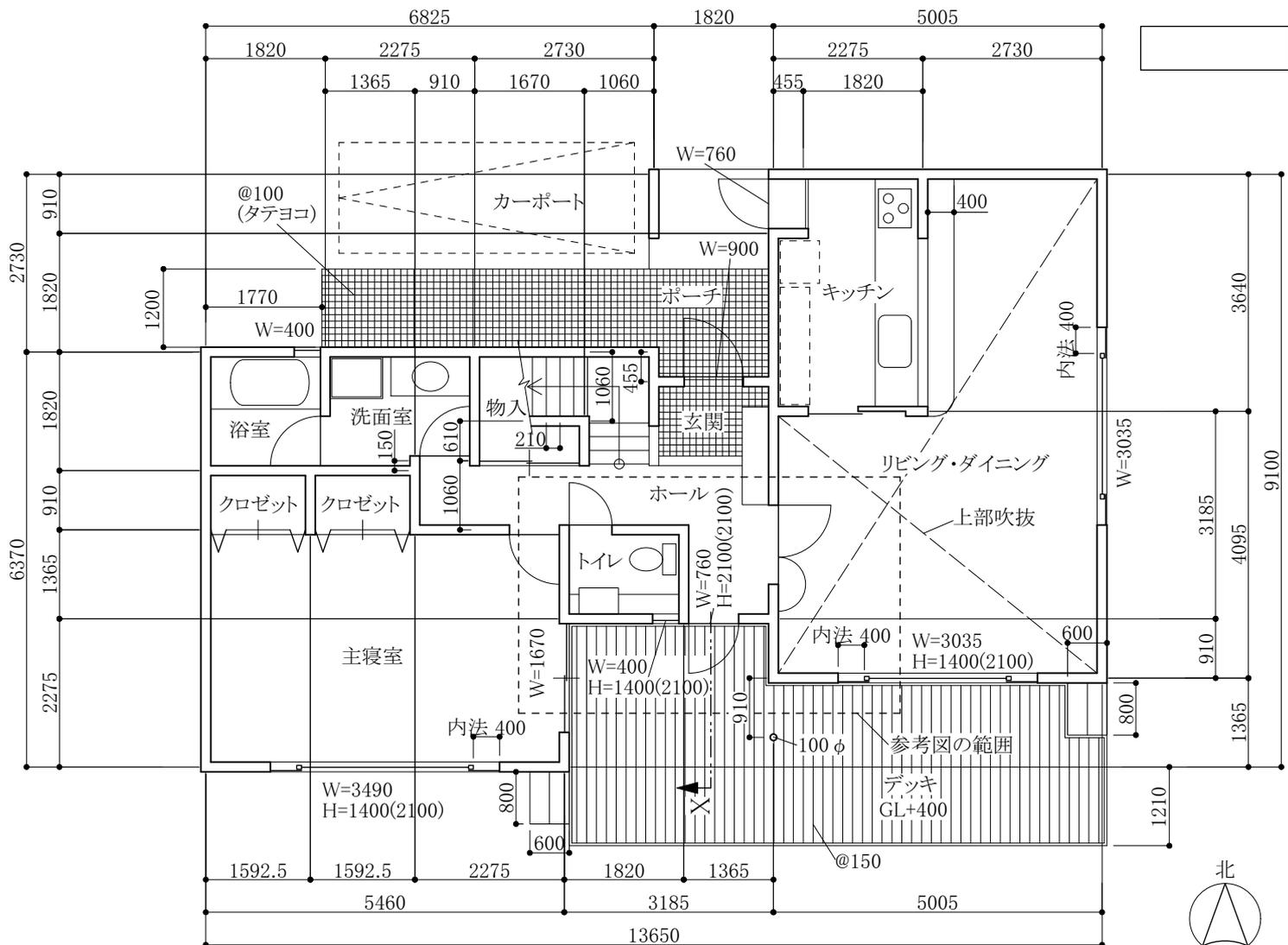
問題

1. 1階平面図をもとに1階の平面詳細図を縮尺1/50で作成せよ。
2. 各図面をもとに南立面図を縮尺1/50で作成せよ。

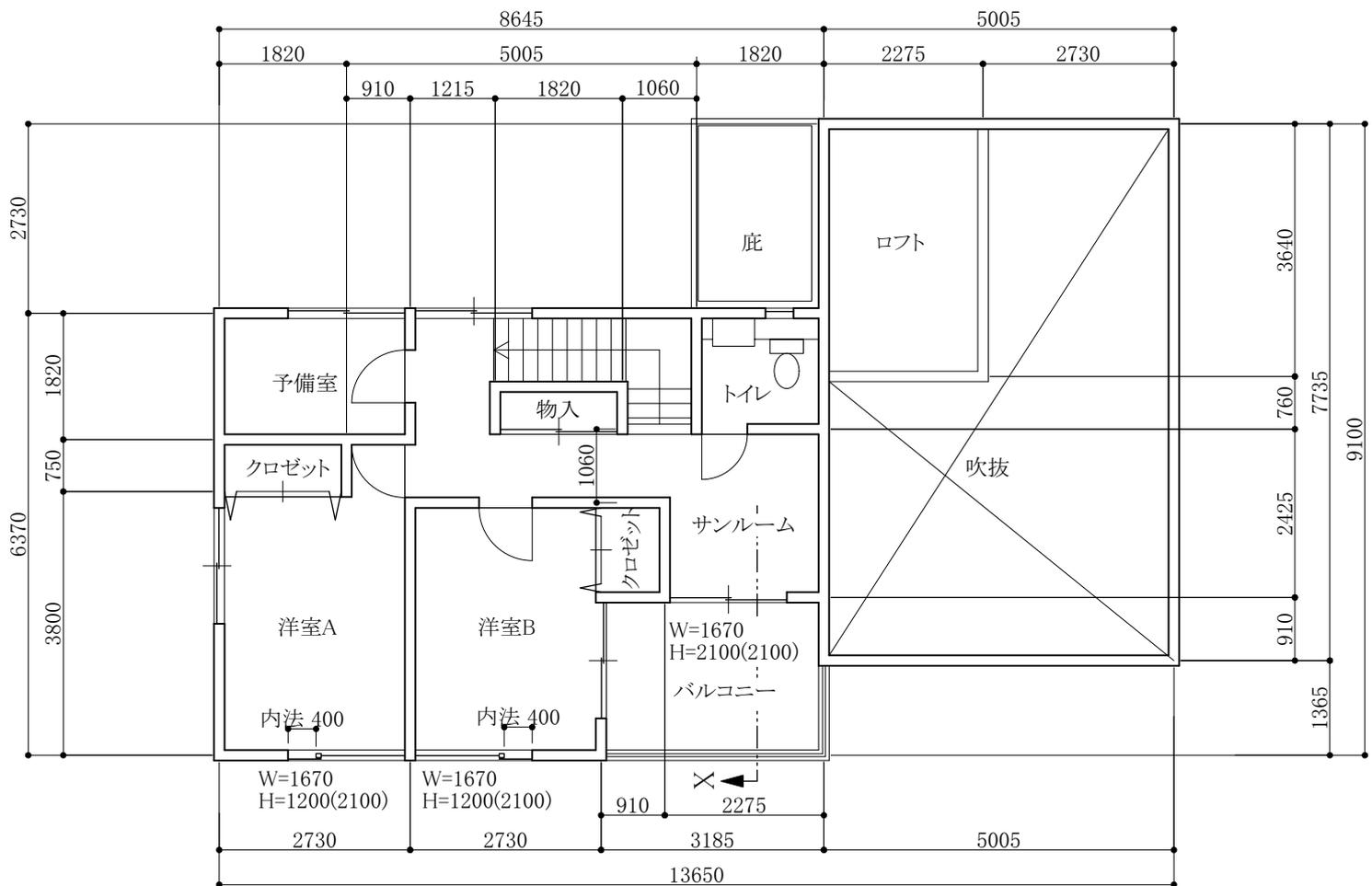
補足説明

1. 用紙サイズはA3判(横使い)とし、平面詳細図で1枚、立面図で1枚の計2枚を使う。
2. 平面図に記入するものは以下のとおりとする。
 - ・平面図(S=1/100)にある壁や建具および自動車や設備機器などの形状。
 - ・平面図にある寸法。ただし壁の位置を示す寸法で、建物の外部にある寸法のみを記入すること。
 - ・平面図にある室名と「上部吹抜」という文字列。
 - ・ポーチ・玄関・デッキのハッチング。
 - ・図面タイトル「1階平面詳細図 S=1/50」。
3. 平面詳細図の図面密度は参考図程度とする。
4. 各図面でサイズを指定していない部分は、適していると思われる位置/サイズで描くこと。
5. 壁厚は構造体厚を100mm、仕上げ厚を25mm(両面で50mm)とし合計150mmとする。
6. サッシはアルミ製とし、見込み寸法は100mmとする。
7. 平面図のサッシ部(および開口部)に記入してあるH=1400(2100)の「1400」はサッシの高さで、()内の数値は床から測ったサッシ上端(開口上端)の高さである。W=3490はサッシの幅を示す。なお、サッシの幅と高さは躯体の開口寸法である。
8. 立面図に関する注意事項を以下に記す。
 - ・必ず記入しなければならないものはGL(地盤線)、基礎、壁、建具、屋根、デッキ、デッキ階段、床下換気口(400×150)、バルコニー手摺および図面タイトル「南立面図 S=1/50」。
 - ・樋は記入しなくてよい。
 - ・屋根の棟の包み金物は記入しなくてよい。
 - ・寸法および屋根勾配は記入しなくてよい。
 - ・サッシの下枠が水切りを兼ねるものとする(水切りを別部材として描く必要はない)。
9. 平面詳細図と立面図は直線、長方形、円弧、円、楕円を用いて描くこと。すなわちシンボル・部品図形・自動作図、ブロック、ライブラリなどの使用を禁じる(便器は楕円だけでもよい)。
10. 2枚の図面の両方とも、受験番号と氏名を図面右下部分に記入すること。
11. 平面詳細図と立面図のCADデータは別ファイルとする。
12. 保存ファイル名は、受験番号に平面詳細図:hei、立面図:rituを加えたものとする。(例:1234567hei, 1234567ritu)
13. 監督者が指定するメディアに解答図面データ(2ファイル)を保存し提出すること。なお、いずれの1つでも解答図面データが無い場合は、採点対象外になる。

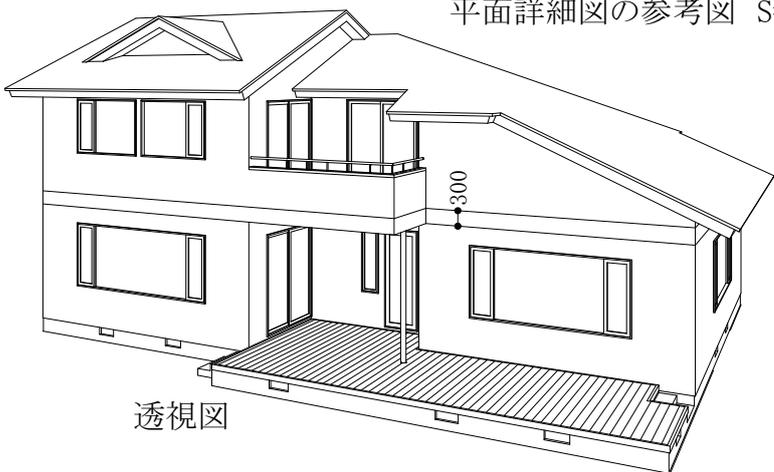
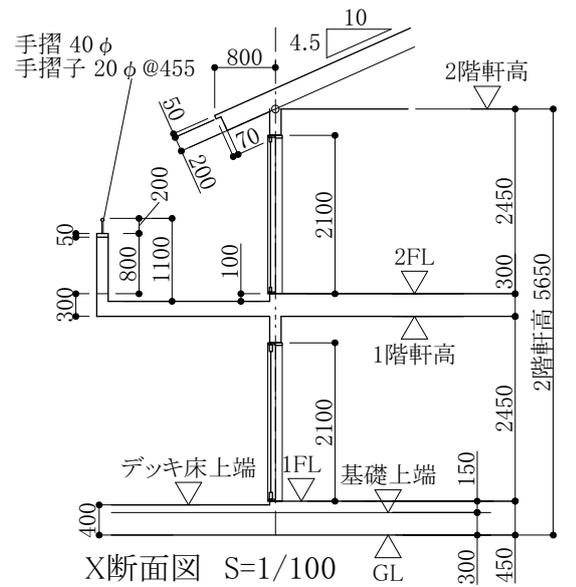
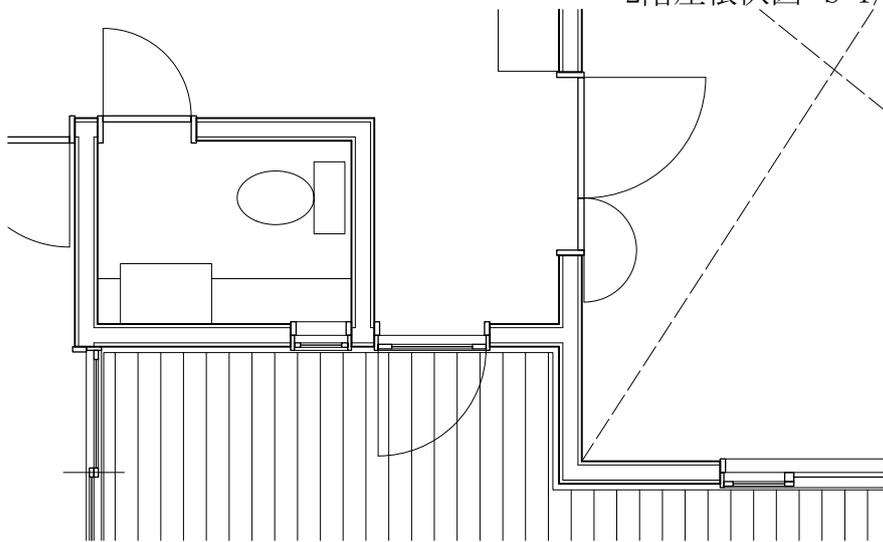
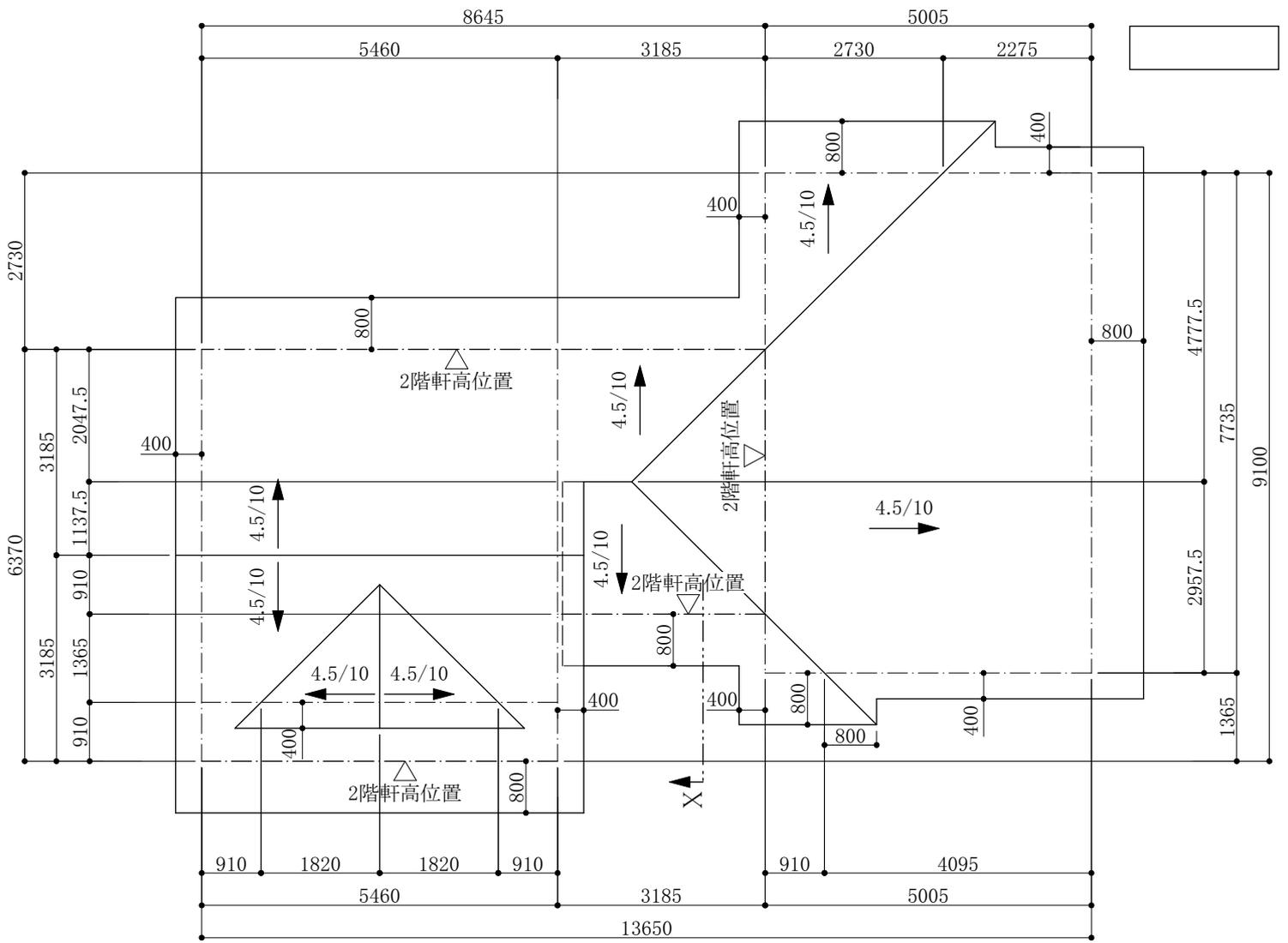
以上

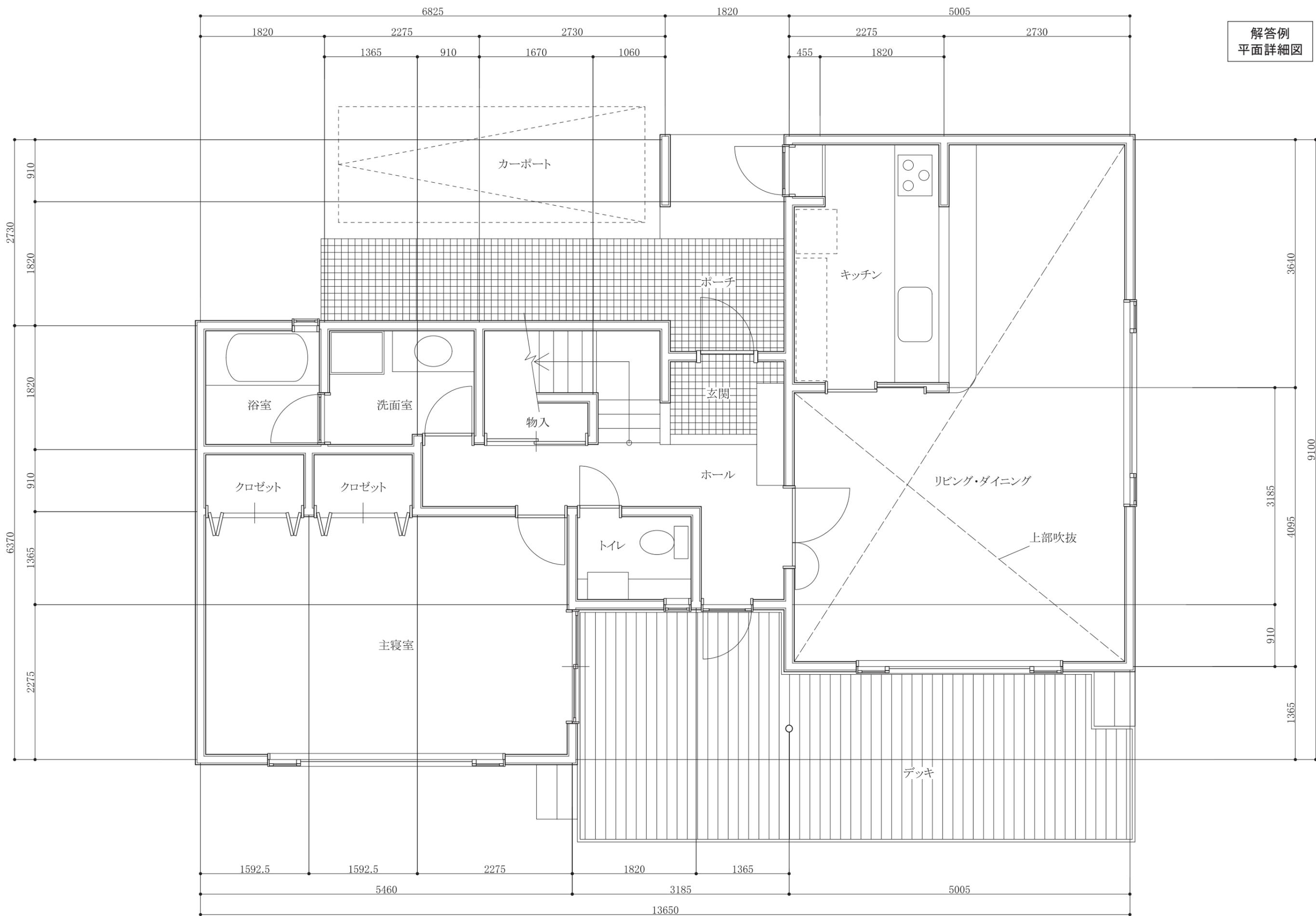


1階平面図 S=1/100

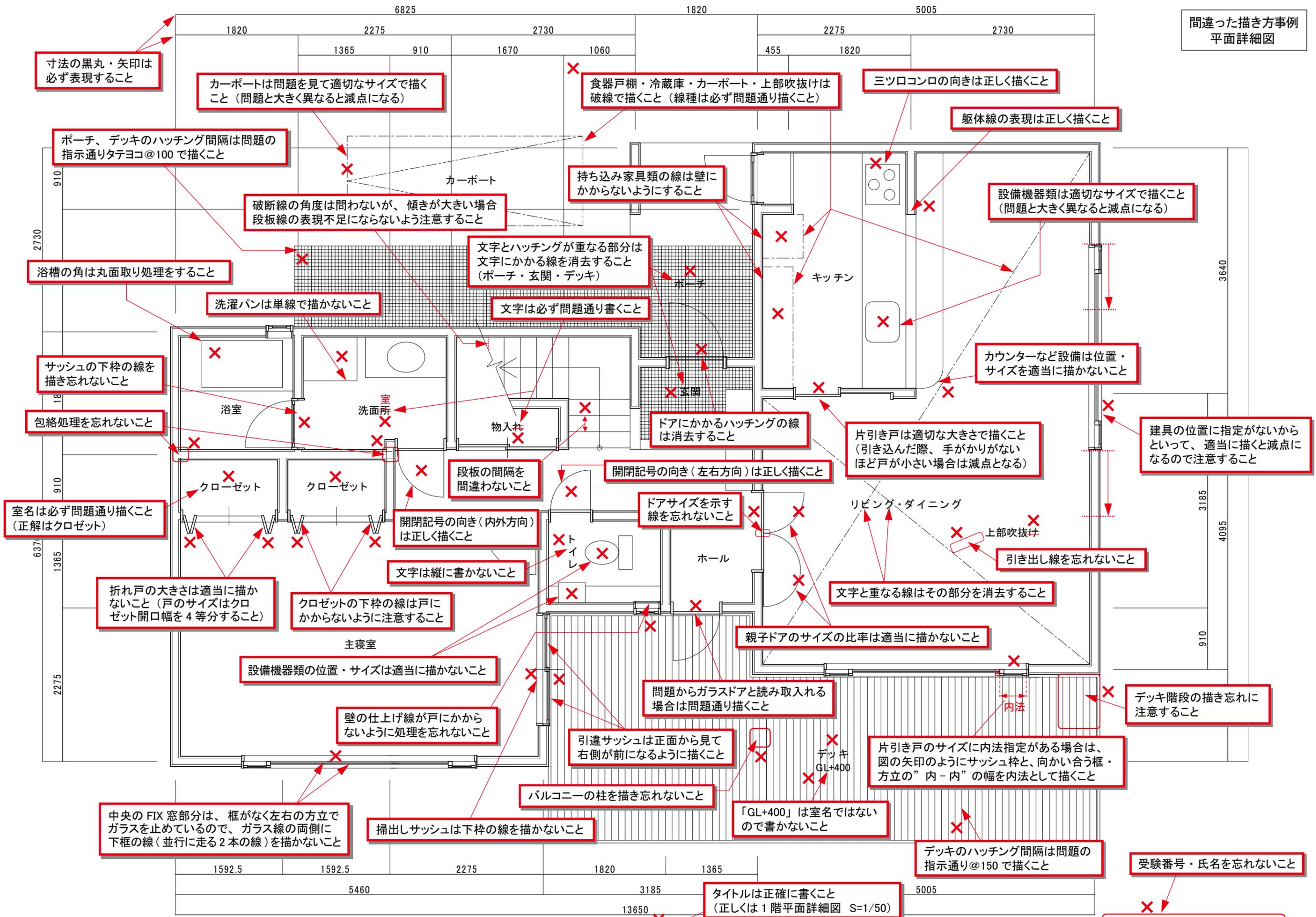


2階平面図 S=1/100





1階平面詳細図 S=1/50



寸法の黒丸・矢印は必ず表現すること

カーポートは問題を見て適切なサイズで描くこと (問題と大きく異なると減点になる)

食器戸棚・冷蔵庫・カーポート・上部吹抜けは破線で描くこと (線種は必ず問題通り描くこと)

三ツロコンロの向きは正しく描くこと

躯体線の表現は正しく描くこと

ポーチ、デッキのハッチング間隔は問題の指示通りタテヨコ@100で描くこと

破断線の角度は問わないが、傾きが大きい場合段板線の表現不足にならないよう注意すること

持ち込み家具類の線は壁にかからないようにすること

設備機器類は適切なサイズで描くこと (問題と大きく異なると減点になる)

浴槽の角は丸面取り処理をすること

文字とハッチングが重なる部分は文字にかかる線を消去すること (ポーチ・玄関・デッキ)

文字は必ず問題通り書くこと

カウンターなど設備は位置・サイズを適当に描かないこと

洗濯パンは単線で描かないこと

サッシの下枠の線を描き忘れないこと

ドアにかかるハッチングの線は消去すること

片引き戸は適切な大きさに描くこと (引き込んだ際、手がかりがないほど戸が小さい場合は減点となる)

建具の位置に指定がないからといって、適当に描くと減点になるので注意すること

包絡処理を忘れないこと

段板の間隔を間違わないこと

開閉記号の向き (左右方向) は正しく描くこと

室名は必ず問題通り描くこと (正解はクローゼット)

開閉記号の向き (内外方向) は正しく描くこと

ドアサイズを示す線を忘れないこと

引き出し線を忘れないこと

折れ戸の大きさは適当に描かないこと (戸のサイズはクローゼット開口幅を4等分すること)

クローゼットの下枠の線は戸にかからないように注意すること

文字は縦に書かないこと

文字と重なる線はその部分を消去すること

親子ドアのサイズの比率は適当に描かないこと

設備機器類の位置・サイズは適当に描かないこと

問題からガラスドアと読み取れる場合は問題通り描くこと

デッキ階段の描き忘れに注意すること

壁の仕上げ線が戸にかからないように処理を忘れないこと

引違サッシは正面から見て右側が前になるように描くこと

片引き戸のサイズに内法指定がある場合は、図の矢印のようにサッシ枠と、向かい合う框・方立の”内-内”の幅を内法として描くこと

中央のFIX窓部分は、框がなく左右の方立でガラスを止めているので、ガラス線の両側に下框の線 (並行に走る2本の線) を描かないこと

掃出しサッシは下枠の線を描かないこと

バルコニーの柱を描き忘れないこと

「GL+400」は室名ではないので書かないこと

デッキのハッチング間隔は問題の指示通り@150で描くこと

受験番号・氏名を忘れないこと

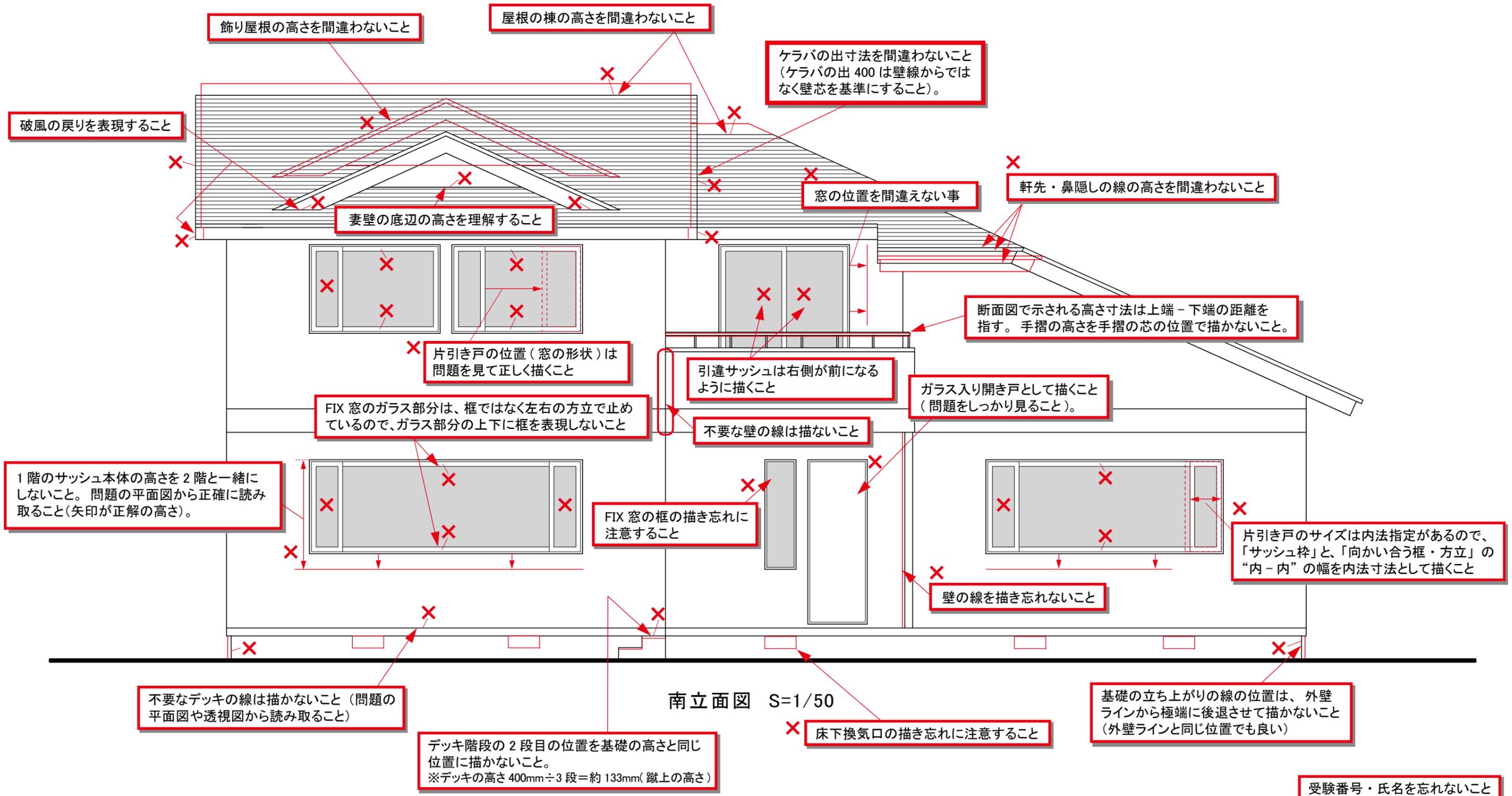
タイトルは正確に書くこと (正しくは1階平面詳細図 S=1/50)

1階平面図 S=1/50



南立面图 S=1/50

●赤い実践・破線は正解の位置を示します



受験番号・氏名を忘れないこと

[Redacted box for student information]